

# わたしたちの物語

大切な記憶

〇・Hさん(85才) & 大正大学社会福祉学科3年 町山 遥さん

出身は、日暮里二丁目。

家があったけど戦争でみんな焼けちゃって  
焼け野原になっちゃって。

うち、商売やってたんだけど何も残らなかった。  
それが9歳のとき。

おふくろがちょうとうごら番目の二女を生んだばかりで病院にいて  
一人で防空壕へ逃げたの。

そしたら隣のおばさんが「でなきやだめ」って言って  
逃げるこがなくて荒川区役所に逃げた。

そのあと、しばらく栃木に引っ越した。

小学校で自分だけ洋服でみんなに驚かれたよ。

栃木は中学の終わりまでいて、

高校で上野の方に来た。

おふくろは医療関係で働いてて、

85歳まで働いていたの。

100歳まで生きてたかな。

よく「だらしない」なんて言われてたな。



女房は55歳くらいに乳がんで亡くなっちゃったの。

女房と結婚したのは50歳くらいになってから。

20歳くらいからずっと付き合ってたけど

結婚する気全然なかったの。

ずっと一緒にいたけど今から30年くらい前

この引越してくる時に籍入れたの。

30歳くらいの時、女房が向この親戚に無理やり結婚させられて、

子どもができたんだけどすべっ叩きして

また一緒になったの。

だから、娘は血が繋がってない。

でもずっと育ててきてたから、

ぼくの子供だと言ってわれちゃって。

娘はもう55くらいかな。

女房よりも年取ったね。

妹の孫が良く来る。

写真見てもいつの間にか大きくなっちゃってね。

その日その日大切にされた方がいいよ。

年取ったらお金あってもできないうと多いからね。

若い時にやらないとやしないおれなわけ。